

区分レベル	Ⅱ-A-5
学科専攻名	教務委員会
記載者名	奥井 現理

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）	ACT（改善）
Ⅱ-A-5(1)	Ⅱ-A-5 (1)（計画） APは学習成果に対応していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する	Ⅱ-A-5 (1)（実行） 確認済(令和2年認証評価)である、APが学習成果に対応していることを継続した	◎ ・ ○ ・ △	Ⅱ-A-5 (1)（改善） 令和六年度の三つの方針改訂にあってもこの対応を継続するものとする。
Ⅱ-A-5(2)	Ⅱ-A-5 (2)（計画） 学生募集要項にAPを明確に示していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する	Ⅱ-A-5 (2)（実行） 確認済(令和2年認証評価)である、学生募集要項にAPを明確に示すことを継続した。	◎ ・ ○ ・ △	Ⅱ-A-5 (2)（改善） 引き続き、学生募集要項にAPを明確に示すものとする。
Ⅱ-A-5(3)	Ⅱ-A-5 (3)（計画） APは入学前の学習成果の把握・評価を明確にしていること確認済(令和2年認証評価)であり継続する	Ⅱ-A-5 (3)（実行） 確認済(令和2年認証評価)である、入学前の学習成果の把握・評価を明確にすることを継続した。	◎ ・ ○ ・ △	Ⅱ-A-5 (3)（改善） 引き続き、入学前の学習成果の把握・評価を明確にすることを継続する。
Ⅱ-A-5(4)	Ⅱ-A-5 (4)（計画） 入学者選抜の方法がAPに対応しているか確認する	Ⅱ-A-5 (4)（実行） 入学者選抜の方法がAPに対応しているか確認した	◎ ・ ○ ・ △	Ⅱ-A-5 (4)（改善） 引き続き、入学者選抜の方法とAPとの対応を継続する。

II -A-5(5)	II -A-5 (5) (計画) 高大連携の観点により、多様な選抜についてそれぞれの選考基準として専攻の「面接評価表」を作成し公正かつ適正に実施していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する	II -A-5 (5) (実行) 確認済(令和2年認証評価)である、高大連携の観点により、多様な選抜についてそれぞれの選考基準として専攻の「面接評価表」を作成し公正かつ適正に実施することを継続した。	◎ ・ ○ ・ △	II -A-5 (5) (評価) 確認済(令和2年認証評価)である、高大連携の観点により、多様な選抜についてそれぞれの選考基準として専攻の「面接評価表」を作成し公正かつ適正に実施することを継続したことを確認した。	II -A-5 (5) (改善) 引き続き、高大連携の観点により、多様な選抜についてそれぞれの選考基準として専攻の「面接評価表」を作成し公正かつ適正に実施することを継続してゆく。
II -A-5(6)	II -A-5 (6) (計画) 授業料、その他入学に必要な経費を明示していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する	II -A-5 (6) (実行) 令和2年認証評価で確認済みである、授業料、その他入学に必要な経費を明示することを継続した。	◎ ・ ○ ・ △	II -A-5 (6) (評価) 令和2年認証評価で確認済みである、授業料、その他入学に必要な経費を明示することを継続したことを確認した。	II -A-5 (6) (改善) 引き続き授業料、その他入学に必要な経費を明示することを継続してゆく。
II -A-5(7)	II -A-5 (7) (計画) アドミッション・オフィスを設置していることを確認済（令和2年認証評価）であり継続する	II -A-5 (7) (実行) 令和2年認証評価で確認済みである、アドミッション・オフィスを設置していることを継続した。	◎ ・ ○ ・ △	II -A-5 (7) (評価) 令和2年認証評価で確認済みである、アドミッション・オフィスを設置していることを継続したことを確認した。	II -A-5 (7) (改善) 引き続き、アドミッション・オフィスの設備を継続してゆく。
II -A-5(8)	II -A-5 (8) (計画)	II -A-5 (8) (実行)	◎ ・ ○ ・ △	II -A-5 (8) (評価)	II -A-5 (8) (改善)
II -A-5(9)	II -A-5 (9) (計画)	II -A-5 (9) (実行)	◎ ・ ○ ・ △	II -A-5 (9) (評価)	II -A-5 (9) (改善)

区分レベル	Ⅱ-A-5
学科専攻名	生活科学
記載者名	三浦 弥生

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）	ACT（改善）
Ⅱ-A-5(1)	Ⅱ-A-5 (1)（計画） APは学習成果に対応していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する	Ⅱ-A-5 (1)（実行） 継続実施：APは学修成果に対応している	◎ Ⅱ-A-5 (1)（評価） 課題なく継続	Ⅱ-A-5 (1)（改善） 継続
Ⅱ-A-5(2)	Ⅱ-A-5 (2)（計画） 学生募集要項にAPを明確に示していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する	Ⅱ-A-5 (2)（実行） 継続実施：学生募集要項にAPを示している	◎ Ⅱ-A-5 (2)（評価） 課題なく継続	Ⅱ-A-5 (2)（改善） 継続
Ⅱ-A-5(3)	Ⅱ-A-5 (3)（計画） APは入学前の学習成果の把握・評価を明確にしていること確認済(令和2年認証評価)であり継続する	Ⅱ-A-5 (3)（実行） 継続実施：APは入学前の学修成果の把握・評価を明確にしている	◎ Ⅱ-A-5 (3)（評価） 課題なく継続	Ⅱ-A-5 (3)（改善） 継続
Ⅱ-A-5(4)	Ⅱ-A-5 (4)（計画） 入学者選抜の方法がAPに対応するよう、一般入試の小論文のテーマ設定をAPに沿ったものにする	Ⅱ-A-5 (4)（実行） 継続実施：一般入試の小論文のテーマ設定をAPに沿ったものになっている	◎ Ⅱ-A-5 (4)（評価） 課題なく継続	Ⅱ-A-5 (4)（改善） 継続

II -A-5(5)	II -A-5 (5) (計画) 高大連携の観点により、多様な選抜についてそれぞれの選考基準として専攻の「面接評価表」を作成し公正かつ適正に実施していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する	II -A-5 (5) (実行) 継続実施：専攻用の「面接評価表」と用い公正かつ適切に実施している	◎	II -A-5 (5) (評価) 課題なく継続	II -A-5 (5) (改善) 継続
II -A-5(6)	II -A-5 (6) (計画) 授業料、その他入学に必要な経費を明示していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する	II -A-5 (6) (実行) 継続実施：学生募集要項・学生便覧及び入学時配布資料の記載	◎	II -A-5 (6) (評価) 課題なく継続	II -A-5 (6) (改善) 継続
II -A-5(7)	II -A-5 (7) (計画) アドミッション・オフィスを設置していることを確認済（令和2年認証評価）であり継続する	II -A-5 (7) (実行) 継続実施：教務課の指導により専攻全教員が対応している	◎	II -A-5 (7) (評価) 課題なく継続	II -A-5 (7) (改善) 継続
II -A-5(8)	II -A-5 (8) (計画) 受験の問い合わせに対して適切に対応する（令和2年認証評価より継続）	II -A-5 (8) (実行) 継続実施：広報課からの問い合わせに応じている	◎	II -A-5 (8) (評価) 課題なく継続	II -A-5 (8) (改善) 継続
II -A-5(9)	II -A-5 (9) (計画) APを高等学校関係者の意見も聴取して定期的に点検する（令和2年認証評価より継続）	II -A-5 (9) (実行) 継続実施	◎	II -A-5 (9) (評価) 課題なく継続	II -A-5 (9) (改善) 継続

区分レベル	Ⅱ-A-5
学科専攻名	介護福祉専攻
記載者名	太和田 雅美

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）	ACT（改善）
Ⅱ-A-5(1)	Ⅱ-A-5(1)（計画）入学者受入れの方針は学習成果に対応しているか点検する。	Ⅱ-A-5(1)（実行） 専攻会の中で入学者受入れの方針は学習成果に対応しているか点検を行う	◎	Ⅱ-A-5(1)（評価） Ⅱ-A-5(1)（改善）
Ⅱ-A-5(2)	Ⅱ-A-5(2)（計画）Ⅱ-A-5(2)（計画）学生募集要項に入学者受入れの方針を明確に示しているか点検する。	Ⅱ-A-5(2)（実行） 学生募集要項に入学者受入れの方針を明確に示している。	◎	Ⅱ-A-5(2)（評価） Ⅱ-A-5(2)（改善）
Ⅱ-A-5(3)	Ⅱ-A-5(3)（計画）入学者受入れの方針は、入学前の学習成果の把握・評価を明確に示しているか点検する。	Ⅱ-A-5(3)（実行） 専攻会の中で学習成果に繋がっているか点検している。	◎	Ⅱ-A-5(3)（評価） Ⅱ-A-5(3)（改善）
Ⅱ-A-5(4)	Ⅱ-A-5(4)（計画）入学者選抜の方法は、入学者受入れの方針に対応しているか点検する。 面接試験により入学者受け入れ方針について確認していく	Ⅱ-A-5(4)（実行） 面接試験により入学者受け入れ方針について確認している。	◎	Ⅱ-A-5(4)（評価） Ⅱ-A-5(4)（改善）
Ⅱ-A-5(5)	Ⅱ-A-5(5)（計画）高大接続の観点により、多様な選抜についてそれぞれの選考基準を設定して、公正かつ適正に実施しているか点検する。 公正かつ適正に実施していく。	Ⅱ-A-5(5)（実行） 公正かつ適正に実施している。	◎	Ⅱ-A-5(5)（評価） Ⅱ-A-5(5)（改善）
Ⅱ-A-5(6)	Ⅱ-A-5(6)（計画））授業料、その他入学に必要な経費を明示している。 学校案内等に明示していく	Ⅱ-A-5(6)（実行） 学校案内等に明示している。	◎	Ⅱ-A-5(6)（評価） Ⅱ-A-5(6)（改善）
Ⅱ-A-5(7)	Ⅱ-A-5(7)（計画）アドミッション・オフィス等を整備している	Ⅱ-A-5(7)（実行）	◎	Ⅱ-A-5(7)（評価） Ⅱ-A-5(7)（改善）

Ⅱ -A-5(8)	Ⅱ -A-5 (8)（計画）受験の問い合わせなどに対して適切に対応している。	Ⅱ -A-5 (8)（実行）	◎	Ⅱ -A-5 (8)（評価）	Ⅱ -A-5 (8)（改善）
Ⅱ -A-5(9)	Ⅱ -A-5 (9)（計画）入学者受入れの方針を高等学校関係者の意見も聴取して定期的に点検しているか点検する。 高校訪問等の時に聴取する。	Ⅱ -A-5 (9)（実行） 高校訪問等の時に聴取する。	△	Ⅱ -A-5 (9)（評価） コロナで高校訪問の機会がなく、広報課からも報告はなかったため、検証はできていない。	Ⅱ -A-5 (9)（改善） 高校訪問等が実施可能になり、直接高校へ訪問し意見を取り入れていく

区分レベル	Ⅱ-A-5
学科専攻名	食物栄養専攻
記載者名	友竹浩之

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）		ACT（改善）
Ⅱ-A-5(1)	Ⅱ-A-5 (1)（計画） 入学者受け入れの方針が学習成果に対応しているか、点検する。	Ⅱ-A-5 (1)（実行） 専攻教務委員が点検した。	◎	Ⅱ-A-5 (1)（評価） 入学者受け入れの方針は、学習成果に対応している。	Ⅱ-A-5 (1)（改善） 継続して点検する。
Ⅱ-A-5(2)	Ⅱ-A-5 (2)（計画） 学生募集要項に入学者受け入れの方針が明確に示されているか点検する。	Ⅱ-A-5 (2)（実行） 専攻教務委員が点検した。	◎	Ⅱ-A-5 (2)（評価） 学生募集要項に入学者受け入れの方針が明確に示されている。	Ⅱ-A-5 (2)（改善） 継続して点検する。
Ⅱ-A-5(3)	Ⅱ-A-5 (3)（計画） 入学者受け入れの方針が入学前の学習成果の把握・評価を明確に示しているか、点検する。	Ⅱ-A-5 (3)（実行） 専攻教務委員が点検した。	△	Ⅱ-A-5 (3)（評価） 教務委員会の中で確認する必要がある。	Ⅱ-A-5 (3)（改善） 高校側の意見を聞きながら、見直す。
Ⅱ-A-5(4)	Ⅱ-A-5 (4)（計画） 入学者選抜の方法が、入学者受け入れの方針に対応しているか、点検する。	Ⅱ-A-5 (4)（実行） 専攻教務委員が点検した。	◎	Ⅱ-A-5 (4)（評価） 方針の一部は、面接試験で評価する必要がある。	Ⅱ-A-5 (4)（改善） 継続して点検する。
Ⅱ-A-5(5)	Ⅱ-A-5 (5)（計画） 多様な選抜について、それぞれの選考基準設定して、適性に実施しているか、点検する。	Ⅱ-A-5 (5)（実行） 専攻教務委員が点検した。	◎	Ⅱ-A-5 (5)（評価） 各選抜ごとに選考基準設定している。	Ⅱ-A-5 (5)（改善） 継続して点検する。
Ⅱ-A-5(6)	Ⅱ-A-5 (6)（計画） 授業料、その他入学に必要な経費を明示しているか、点検する。	Ⅱ-A-5 (6)（実行） 専攻教務委員が点検した。	◎	Ⅱ-A-5 (6)（評価） 授業料、その他入学に必要な経費を明示している。	Ⅱ-A-5 (6)（改善） 継続して点検する。
Ⅱ-A-5(7)	Ⅱ-A-5 (7)（計画） アドミッション・オフィス等を整備しているか、点検する。	Ⅱ-A-5 (7)（実行） 専攻教務委員が点検した。	◎	Ⅱ-A-5 (7)（評価） アドミッション・オフィス等を整備している。	Ⅱ-A-5 (7)（改善） 継続して点検する。
Ⅱ-A-5(8)	Ⅱ-A-5 (8)（計画） 受験の問い合わせなどに対して適切に対応しているか、点検する。	Ⅱ-A-5 (8)（実行） 専攻教務委員が点検した。	◎	Ⅱ-A-5 (8)（評価） 広報課との打ち合わせしながら、対応している。	Ⅱ-A-5 (8)（改善） 継続して点検する。
Ⅱ-A-5(9)	Ⅱ-A-5 (9)（計画） 入学者受け入れの方針について、高校関係者に点検してもらう。	Ⅱ-A-5 (9)（実行） 高校関係者に点検してもらった。	○	Ⅱ-A-5 (9)（評価） 高校関係者に点検してもらった。	Ⅱ-A-5 (9)（改善） 継続して点検してもらう

区分レベル	Ⅱ-A-5
学科専攻名	幼児教育学科
記載者名	青木 千恵美

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）	ACT（改善）
Ⅱ-A-5(1)	Ⅱ-A-5 (1)（計画）APが学修成果に対応しているか、確認する	Ⅱ-A-5 (1)（実行）確認した	◎	Ⅱ-A-5 (1)（改善）継続する
Ⅱ-A-5(2)	Ⅱ-A-5 (2)（計画）APを募集要項に掲載する	Ⅱ-A-5 (2)（実行）掲載した	◎	Ⅱ-A-5 (2)（改善）継続する
Ⅱ-A-5(3)	Ⅱ-A-5 (3)（計画）APが入学前の学修成果の把握、評価を示しているか、確認する	Ⅱ-A-5 (3)（実行）確認した	◎	Ⅱ-A-5 (3)（改善）継続する
Ⅱ-A-5(4)	Ⅱ-A-5 (4)（計画）入学者選抜の方法とAPが対応しているか確認する	Ⅱ-A-5 (4)（実行）確認した	◎	Ⅱ-A-5 (4)（改善）継続する
Ⅱ-A-5(5)	Ⅱ-A-5 (5)（計画）多様な選抜に対し、選考基準を設け、公正かつ適切に実施できるよう、学科内で基準を共有し、実施する	Ⅱ-A-5 (5)（実行）実施した	◎	Ⅱ-A-5 (5)（改善）継続する
Ⅱ-A-5(6)	Ⅱ-A-5 (6)（計画）授業料等、入学に必要な経費について、学校案内、学生募集要項に掲載する	Ⅱ-A-5 (6)（実行）掲載した	◎	Ⅱ-A-5 (6)（改善）継続する
Ⅱ-A-5(7)	Ⅱ-A-5 (7)（計画）総合型選抜入試を実施する	Ⅱ-A-5 (7)（実行）実施した	◎	Ⅱ-A-5 (7)（改善）継続する
Ⅱ-A-5(8)	Ⅱ-A-5 (8)（計画）受験の問い合わせに対して、入試事務局と連携をはかり、対応できるようにする	Ⅱ-A-5 (8)（実行）対応した	◎	Ⅱ-A-5 (8)（改善）継続する
Ⅱ-A-5(9)	Ⅱ-A-5 (9)（計画）	Ⅱ-A-5 (9)（実行）	○	Ⅱ-A-5 (9)（改善）

区分レベル	Ⅱ-A-5
学科専攻名	看護学科
記載者名	鈴木 真由美

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）		ACT（改善）
Ⅱ-A-5(1)	Ⅱ-A-5 (1)（計画）（1）入学者受入れの方針は学習成果に対応している。 入学者受入れの方針は学習成果に対応しているか確認する。	Ⅱ-A-5 (1)（実行） 各系代表者会議、学科会議で確認した。	◎	Ⅱ-A-5 (1)（評価） 継続に問題はない。	Ⅱ-A-5 (1)（改善） 改善事項なし。
Ⅱ-A-5(2)	Ⅱ-A-5 (2)（計画）（2）学生募集要項に入学者受入れの方針を明確に示している。 学生募集要項に入学者受入れの方針を明確に示しているか確認する。	Ⅱ-A-5 (2)（実行） 学科長と各系代表者で確認した。	◎	Ⅱ-A-5 (2)（評価） 継続に問題はない。	Ⅱ-A-5 (2)（改善） 改善事項なし。
Ⅱ-A-5(3)	Ⅱ-A-5 (3)（計画）（3）入学者受入れの方針は、入学前の学習成果の把握・評価を明確に示している。 入学者受入れの方針は、入学前の学習成果の把握・評価を明確に示しているか確認する。	Ⅱ-A-5 (3)（実行） 各系代表者会議、学科会議で確認した。	◎	Ⅱ-A-5 (3)（評価） 継続に問題はない。	Ⅱ-A-5 (3)（改善） 改善事項なし。
Ⅱ-A-5(4)	Ⅱ-A-5 (4)（計画）（4）入学者選抜の方法は、入学者受入れの方針に対応している。 入学者選抜の方法は、入学者受入れの方針に対応しているか確認する。	Ⅱ-A-5 (4)（実行） 全てに筆記試験(小論文を含む)と面接を行い、受け入れ方針に適しているか評価した。	◎	Ⅱ-A-5 (4)（評価） 継続に問題はない。	Ⅱ-A-5 (4)（改善） 改善事項なし。
Ⅱ-A-5(5)	Ⅱ-A-5 (5)（計画）（5）高大接続の観点により、多様な選抜についてそれぞれの選考基準を設定して、公正かつ適正に実施している。 高大接続の観点からも、公正かつ適正に入学試験を実施できているか確認する。	Ⅱ-A-5 (5)（実行） 各系代表者会議、学科会議で確認した。	◎	Ⅱ-A-5 (5)（評価） 継続に問題はない。	Ⅱ-A-5 (5)（改善） 改善事項なし。

II -A-5(6)	II -A-5 (6) (計画) (6) 授業料、その他入学に必要な経費を明示している。 授業料、その他入学に必要な経費を明示しているか確認する。	II -A-5 (6) (実行) 入学に必要な経費について、担当者がそれぞれ検討した上で、各系代表者会議・学科会議で確認した。	◎	II -A-5 (6) (評価) 継続に問題はない。	II -A-5 (6) (改善) 改善事項なし。
II -A-5(7)	II -A-5 (7) (計画)	II -A-5 (7) (実行)	◎ ・ ○ ・ △	II -A-5 (7) (評価)	II -A-5 (7) (改善) 改善事項なし。
II -A-5(8)	II -A-5 (8) (計画) (8) 受験の問い合わせなどに対して適切に対応している。 受験の問い合わせなどに対して適切に対応する。	II -A-5 (8) (実行) オープンキャンパスや進学ガイダンスなどで対応した。電話などで問い合わせがあった場合には個別対応を行った。	◎	II -A-5 (8) (評価) 継続に問題はない。	II -A-5 (8) (改善) 改善事項なし。
II -A-5(9)	II -A-5 (9) (計画) (9) 入学者受入れの方針を高等学校関係者の意見も聴取して定期的に点検している。 入学者受入れの方針を高等学校関係者の意見も聴取して毎年点検する。	II -A-5 (9) (実行) 高校訪問の際に、進路担当者教員に意見を聞いた。高校からの個別の意見や入試の選択方法などの質問にも対応した。高等学校関係者から、入学者受入れの方針に適格か否かぎりぎりのラインであるという相談があった。 近隣の5校は、学科長が対応とした。	○	II -A-5 (9) (評価) 継続に問題はない。	II -A-5 (9) (改善) 改善事項なし。

区分レベル	II -A-6
学科専攻名	教務委員会
記載者名	奥井 現理

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）	ACT（改善）
II -A-6(1)	II -A-6 (1)（計画） 学習成果の具体性があることを確認済(令和2年 認証評価)であり継続する	II -A-6 (1)（実行） 確認済(令和2年認証評価)である、学習成果の具 体性がある状態を継続した。	◎ ・ ○ ・ △	II -A-6 (1)（改善） 引き続き、具体性ある学習成果の状態を継続し てゆく。
II -A-6(2)	II -A-6 (2)（計画） 学習成果は一定期間内に獲得可能であることを 確認済(令和2年認証評価)であり継続する	II -A-6 (2)（実行） 確認済(令和2年認証評価)である、学習成果が一 定期間内に獲得可能である状態を継続した。	◎ ・ ○ ・ △	II -A-6 (2)（改善） 引き続き、学習成果が一定期間内に獲得可能で ある状態を継続してゆく。
II -A-6(3)	II -A-6 (3)（計画） 学習成果は成績評価、GPA、国家資格・免許・ 資格の取得等において測定可能であることを確 認済(令和2年認証評価)であり継続する	II -A-6 (3)（実行） 確認済(令和2年認証評価)である、学習成果が成 績評価、GPA、国家資格・免許・資格の取得等 において測定可能である状態を継続した。	◎ ・ ○ ・ △	II -A-6 (3)（改善） 引き続き、学習成果が成績評価、GPA、国家資 格・免許・資格の取得等において測定可能であ る状態を継続してゆく。

区分レベル	Ⅱ-A-6
学科専攻名	生活科学
記載者名	三浦 弥生

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）		ACT（改善）
Ⅱ-A-6(1)	Ⅱ-A-6 (1)（計画） 学習成果の具体性があることを確認済(令和2年 認証評価)であり継続する	Ⅱ-A-6 (1)（実行） 継続実施：学修成果には具体性(生活化学・養護 教諭・医療事務・デザイン)がある	◎	Ⅱ-A-6 (1)（評価） 課題なく継続	Ⅱ-A-6 (1)（改善） 継続
Ⅱ-A-6(2)	Ⅱ-A-6 (2)（計画） 学習成果は2年間の在学期間内で獲得可能である こと、また意欲のある学生は複数分野を学べる ことを確認済(令和2年認証評価)である継続する	Ⅱ-A-6 (2)（実行） 継続実施：学習成果は2年間の在学期間内で獲得 可能であり意欲のある学生は複数分野を学べる	◎	Ⅱ-A-6 (2)（評価） 課題なく継続	Ⅱ-A-6 (2)（改善） 継続
Ⅱ-A-6(3)	Ⅱ-A-6 (3)（計画） 学習成果は成績評価、GPA、免許・資格の取 得、卒業制作の作品評価において測定可能であ ることを確認済(令和2年認証評価)であり継続す る	Ⅱ-A-6 (3)（実行） 継続実施：成績評価、GPA、免許・資格の取 得、卒業制作の作品評価において測定可能であ る	◎	Ⅱ-A-6 (3)（評価） 課題なく継続	Ⅱ-A-6 (3)（改善） 継続

区分レベル	Ⅱ-A-6
学科専攻名	介護福祉専攻
記載者名	太和田 雅美

	PLAN（計画）	DO（実行）		CHECK（検証）	ACT（改善）
Ⅱ-A-6(1)	Ⅱ-A-6(1)（計画）学習成果に具体性があるか点検する。	Ⅱ-A-6(1)（実行） 学習成果としての介護福祉士国家試験に100%合格できた。	◎	Ⅱ-A-6(1)（評価）	Ⅱ-A-6(1)（改善）
Ⅱ-A-6(2)	Ⅱ-A-6(2)（計画）学習成果は一定期間内で獲得可能であるか点検する。	Ⅱ-A-6(2)（実行） 介護福祉士資格取得100%で2年間で獲得できるよう計画できた。	◎	Ⅱ-A-6(2)（評価）	Ⅱ-A-6(2)（改善）
Ⅱ-A-6(3)	Ⅱ-A-6(3)（計画）学習成果は測定可能であるか点検する。	Ⅱ-A-6(3)（実行） 資格取得率で測定できた。	◎	Ⅱ-A-6(3)（評価）	Ⅱ-A-6(3)（改善）

区分レベル	Ⅱ-A-6
学科専攻名	食物栄養専攻
記載者名	友竹浩之

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）		ACT（改善）
Ⅱ-A-6(1)	Ⅱ-A-6(1)（計画） 学科専攻課程の学習成果に具体性があるか点検する。	Ⅱ-A-6(1)（実行） 専攻教務委員が点検した。	◎	Ⅱ-A-6(1)（評価） 学習成果に具体性がある。	Ⅱ-A-6(1)（改善） 継続して点検する。
Ⅱ-A-6(2)	Ⅱ-A-6(2)（計画） 学習成果は一定期間内で獲得可能であるか、点検する。	Ⅱ-A-6(2)（実行） 専攻教務委員が点検した。	◎	Ⅱ-A-6(2)（評価） 学習成果は一定期間内で獲得可能である。	Ⅱ-A-6(2)（改善） 継続して点検する。
Ⅱ-A-6(3)	Ⅱ-A-6(3)（計画） 学習成果は測定可能であるか、点検する。	Ⅱ-A-6(3)（実行） 専攻教務委員が点検した。	◎	Ⅱ-A-6(3)（評価） 学習成果は測定可能である。	Ⅱ-A-6(3)（改善） 継続可能である。

区分レベル	Ⅱ-A-6
学科専攻名	看護学科
記載者名	鈴木 真由美

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）	ACT（改善）
Ⅱ-A-6(1)	Ⅱ-A-6 (1)（計画）（1）学習成果に具体性がある。 学習成果に具体性があるか確認する。	Ⅱ-A-6 (1)（実行） 各系代表者会議、学科会議で確認した。	◎ Ⅱ-A-6 (1)（評価） 継続に問題はない。	Ⅱ-A-6 (1)（改善） 改善事項なし。
Ⅱ-A-6(2)	Ⅱ-A-6 (2)（計画）（2）学習成果は一定期間内で獲得可能である。 一定期間に単位を習得できない学生に対して、科目担当者を中心に課題及びそのために必要な具体的な取り組み方法について面談を重ねながら支援する。普段は、アドバイザー、担当アドバイザー、ゼミナール担当教員が随時相談にのる。	Ⅱ-A-6 (2)（実行） 単位の取得が難しい学生に対しては前期・後期での成績発表後、各系代表者が面談を行い、相談に乗り、指導・助言を行った。学業が困難である学生の理由は個々に異なり、状況に合わせて支援した。	○ Ⅱ-A-6 (2)（評価） 継続に問題はないが、一定期間で獲得が不可能な学生もいる。単位を取得できない学生は、期間の問題だけではなく、他の事情を抱えている者も多い。学生の状況は様々で、時間がかかることも多いため一定期間内の獲得が難しい学生が増えている。	Ⅱ-A-6 (2)（改善） 教務課とも連携しながら、学生の状況に応じた支援を強化する。
Ⅱ-A-6(3)	Ⅱ-A-6 (3)（計画）（3）学習成果は測定可能である。 学習成果は測定可能であるか(アセスメントポリシー)を確認する。 ・卒業率、就職率、進学率 ・成績、レポートや自己評価 ・国家試験合格率 ・就職先からの評価	Ⅱ-A-6 (3)（実行） 各系代表者会議、学科会議で確認した。	◎ Ⅱ-A-6 (3)（評価） 継続に問題はない。	Ⅱ-A-6 (3)（改善） 改善事項なし。

区分レベル	Ⅱ-A-7
学科専攻名	教務委員会
記載者名	奥井 現理

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）	ACT（改善）
Ⅱ-A-7(1)	Ⅱ-A-7 (1)（計画） 学習成果の獲得状況をデータを用いて測定する仕組みとしてGPA分布、単位取得率、学位取得率、資格試験や国家試験の合格率、ポートフォリオ、ルーブリック分布を活用する(令和2年認証評価より継続)	Ⅱ-A-7 (1)（実行） 令和2年認証評価より継続している、学習成果の獲得状況をデータを用いて測定する仕組みとしてGPA分布、単位取得率、学位取得率、資格試験や国家試験の合格率、ポートフォリオ、ルーブリック分布を活用した	◎ ・ ○ △ 令和2年認証評価より継続している、学習成果の獲得状況をデータを用いて測定する仕組みとしてGPA分布、単位取得率、学位取得率、資格試験や国家試験の合格率、ポートフォリオ、ルーブリック分布を活用したことを確認した	Ⅱ-A-7 (1)（改善） 引き続き、学習成果の獲得状況をデータを用いて測定する仕組みとしてGPA分布、単位取得率、学位取得率、資格試験や国家試験の合格率、ポートフォリオ、ルーブリック分布を活用を継続してゆく
Ⅱ-A-7(2)	Ⅱ-A-7 (2)（計画） 学習成果の獲得状況をデータを用いて測定する仕組みとして在籍率、卒業率、就職率を活用する(令和2年認証評価より継続)	Ⅱ-A-7 (2)（実行） 令和2年認証評価より継続している、学習成果の獲得状況をデータを用いて測定する仕組みとして在籍率、卒業率、就職率を活用することを継続した。	◎ ・ ○ △ 令和2年認証評価より継続している、学習成果の獲得状況をデータを用いて測定する仕組みとして在籍率、卒業率、就職率を活用することを継続したことを確認した。	Ⅱ-A-7 (2)（改善） 引き続き、学習成果の獲得状況をデータを用いて測定する仕組みとして在籍率、卒業率、就職率を活用することを継続してゆく
Ⅱ-A-7(3)	Ⅱ-A-7 (3)（計画） 学習成果の獲得状況（授業改善アンケート結果及び学修時間、就職状況）を本学Webサイトで公表する(令和2年認証評価より継続)	Ⅱ-A-7 (3)（実行） 令和2年認証評価より継続している、学習成果の獲得状況（授業改善アンケート結果及び学修時間、就職状況）を本学Webサイトで公表することを継続した。	◎ ・ ○ △ 令和2年認証評価より継続している、学習成果の獲得状況（授業改善アンケート結果及び学修時間、就職状況）を本学Webサイトで公表することを継続したことを確認した。	Ⅱ-A-7 (3)（改善） 引き続き、学習成果の獲得状況（授業改善アンケート結果及び学修時間、就職状況）を本学Webサイトで公表することを継続してゆく

区分レベル	Ⅱ-A-7
学科専攻名	生活科学
記載者名	三浦 弥生

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）		ACT（改善）
Ⅱ-A-7(1)	Ⅱ-A-7 (1)（計画） 学習成果の獲得状況をデータを用いて測定する仕組みとしてGPA分布、単位取得率、学位取得率、免許・資格試験の合格率、学習成果ノート（ポートフォリオ）、学習成果評価表（ルーブリック分布）を活用する(令和2年認証評価より継続)	Ⅱ-A-7 (1)（実行） 継続実施：GPA分布、単位取得率、学位取得率、免許・資格試験の合格率、学習成果ノート（ポートフォリオ）、学習成果評価表（ルーブリック分布）を活用	◎	Ⅱ-A-7 (1)（評価） 課題なく継続	Ⅱ-A-7 (1)（改善） 継続
Ⅱ-A-7(2)	Ⅱ-A-7 (2)（計画） 学習成果の獲得状況をデータを用いて測定する仕組みとして在籍率、卒業率、就職率を活用する(令和2年認証評価より継続)	Ⅱ-A-7 (2)（実行） 継続実施：在籍率、卒業率、就職率を活用	◎	Ⅱ-A-7 (2)（評価） 課題なく継続	Ⅱ-A-7 (2)（改善） 継続
Ⅱ-A-7(3)	Ⅱ-A-7 (3)（計画） 学習成果の獲得状況を(1)(2)に基づき評価し、本学Webサイトで公表する(令和2年認証評価より継続)	Ⅱ-A-7 (3)（実行） 継続実施：本学Webサイトに公表	◎	Ⅱ-A-7 (3)（評価） 課題なく継続	Ⅱ-A-7 (3)（改善） 継続

区分レベル	Ⅱ-A-7
学科専攻名	介護福祉専攻
記載者名	太和田 雅美

	PLAN（計画）	DO（実行）		CHECK（検証）	ACT（改善）
Ⅱ-A-7(1)	Ⅱ-A-7 (1)（計画） GPA分布、単位取得率、学位取得率、資格試験や国家試験の合格率、学生の業績の集積（ポートフォリオ）、ループリック分布などを活用しているか点検する。	Ⅱ-A-7 (1)（実行） 国家試験の合格率で振り返りを行い次年度の教育方法を検討している。	◎	Ⅱ-A-7 (1)（評価）	Ⅱ-A-7 (1)（改善）
Ⅱ-A-7(2)	Ⅱ-A-7 (2)（計画） 学生調査や学生による自己評価、同窓生への調査、インターンシップや留学などへの参加率、大学編入学率、在籍率、卒業率、就職率などを活用している。	Ⅱ-A-7 (2)（実行） 卒業時の到達目標に対してに自己評価を次年度の教育方法に活用している。	◎	Ⅱ-A-7 (2)（評価）	Ⅱ-A-7 (2)（改善）
Ⅱ-A-7(3)	Ⅱ-A-7 (3)（計画） 学習成果を量的・質的データに基づき評価し、公表しているか点検する。	Ⅱ-A-7 (3)（実行） 介護福祉士資格取得率、就職率、卒業率は公表した。すべて公表しているとはいえない。	○	Ⅱ-A-7 (3)（評価） 質的データの分析が不足しており、公表には至っていない。	Ⅱ-A-7 (3)（改善） 量的データと併せて質的データをどのように評価して公表していくのか検討する。

区分レベル	Ⅱ-A-7
学科専攻名	食物栄養専攻
記載者名	友竹浩之

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）		ACT（改善）
Ⅱ-A-7(1)	Ⅱ-A-7 (1)（計画） GPA分布、単位取得率、学位取得率、資格試験や国家試験の合格率などを学習成果の獲得状況の測定のために活用しているか、点検する。	Ⅱ-A-7 (1)（実行） 専攻教務委員が点検した。	◎	Ⅱ-A-7 (1)（評価） GPAなどを学習成果の獲得状況の測定のために活用している。	Ⅱ-A-7 (1)（改善） 継続して点検する。
Ⅱ-A-7(2)	Ⅱ-A-7 (2)（計画） 学生調査や学生による自己評価、大学編入学率、在籍率、卒業率、就職率などを学習成果の獲得状況の測定のために活用しているか、点検する。	Ⅱ-A-7 (2)（実行） 専攻教務委員が点検した。	◎	Ⅱ-A-7 (2)（評価） 大学編入学率、在籍率、卒業率、就職率などを学習成果の獲得状況の測定のために活用している。	Ⅱ-A-7 (2)（改善） 継続して点検する。
Ⅱ-A-7(3)	Ⅱ-A-7 (3)（計画） 学習成果を量的・質的データに基づき評価し、公表しているか、点検する。	Ⅱ-A-7 (3)（実行） 専攻教務委員が点検した。	○	Ⅱ-A-7 (3)（評価） 在籍率、卒業率、就職率などについては公表している。	Ⅱ-A-7 (3)（改善） 評価内容を公表する方法について、教務委員が引き続き検討する。

区分レベル	Ⅱ-A-7
学科専攻名	幼児教育学科
記載者名	青木 千恵美

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）		ACT（改善）
Ⅱ-A-7(1)	Ⅱ-A-7 (1)（計画）学修成果を把握するための「履修カルテ」の見直しを行う（継続）	Ⅱ-A-7 (1)（実行）教務委員が確認し、学修成果を段階的に把握しやすくするために1年次、2年次に分冊化した	○	Ⅱ-A-7 (1)（評価）	Ⅱ-A-7 (1)（改善）継続する
Ⅱ-A-7(2)	Ⅱ-A-7 (2)（計画）質的データとしての卒業後アンケートによる評価を基にし、授業内容に反映できるようにする	Ⅱ-A-7 (2)（実行）卒業後アンケートによる評価を学科教員で共有し、特に望まれる保育者像、ニーズに関する内容を共有した	○	Ⅱ-A-7 (2)（評価）	Ⅱ-A-7 (2)（改善）継続する
Ⅱ-A-7(3)	学修成果の量的データの公表として、就職率、就職先を学校案内、HPに掲載する	Ⅱ-A-7 (3)（実行）掲載した	○	Ⅱ-A-7 (3)（評価）量的データとして、就職率、就職先の公表を行っている。	Ⅱ-A-7 (3)（改善）継続する

区分レベル	Ⅱ-A-7
学科専攻名	看護学科
記載者名	鈴木 真由美

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）		ACT（改善）
Ⅱ-A-7(1)	Ⅱ-A-7 (1)（計画）（1）GPA分布、単位取得率、学位取得率、資格試験や国家試験の合格率、学生の業績の集積（ポートフォリオ）、ルーブリック分布などを活用している。 学修成果の獲得状況の評価について、GPA分布、単位取得率、学位取得率、資格試験や国家試験の合格率、学生の業績の集積（ポートフォリオ）、ルーブリック分布などを活用する。	Ⅱ-A-7 (1)（実行） 学科教務委員会を中心に、学習成果の獲得について確認した。また、卒業認定会議・進級判定会議でも単位取得率を確認した。	◎	Ⅱ-A-7 (1)（評価） 継続に問題はない。	Ⅱ-A-7 (1)（改善） 改善事項なし。
Ⅱ-A-7(2)	Ⅱ-A-7 (2)（計画）（2）学生調査や学生による自己評価、同窓生への調査、インターンシップや留学などへの参加率、大学編入学率、在籍率、卒業率、就職率などを活用している。 学修成果の獲得状況について、進学率、大学編入学率、在籍率、卒業率、就職率などを活用し評価する。	Ⅱ-A-7 (2)（実行） 各系代表者会議、学科会議で確認した。	◎	Ⅱ-A-7 (2)（評価） 継続に問題はない。	Ⅱ-A-7 (2)（改善） 改善事項なし。
Ⅱ-A-7(3)	Ⅱ-A-7 (3)（計画）（3）学習成果を量的・質的データに基づき評価し、公表している。 進学率・大学編入学率、在籍率、卒業率、就職率、国家試験合格者を学校案内、オープンキャンパス資料、webサイトなどで公表する。	Ⅱ-A-7 (3)（実行） 進学率、在籍率、卒業率、就職率、国家試験合格率を学校案内、オープンキャンパス資料、webサイトなどで公表した。	◎	Ⅱ-A-7 (3)（評価） 継続に問題はない。	Ⅱ-A-7 (3)（改善） 改善事項なし。

区分レベル	Ⅱ-A-8
学科専攻名	生活科学
記載者名	三浦 弥生

	PLAN（計画）	DO（実行）		CHECK（検証）	ACT（改善）
Ⅱ-A-8(1)	Ⅱ-A-8 (1)（計画） 卒業生の進路先からの評価を「卒業後評価アンケート」を用いて聴取する(令和2年認証評価より継続)	Ⅱ-A-8 (1)（実行） 継続実施：卒業生の就職先に「卒業後評価アンケート」を依頼し回答を得た	◎	Ⅱ-A-8 (1)（評価） 課題なく継続	Ⅱ-A-8 (1)（改善） 継続
Ⅱ-A-8(2)	Ⅱ-A-8 (2)（計画） (1)の結果を学習成果の点検に活用する(令和2年認証評価より継続)	Ⅱ-A-8 (2)（実行） 継続実施：「卒業後評価アンケート」5年間を累計して学習成果の点検(令和7年度)に活用する	◎	Ⅱ-A-8 (2)（評価） 課題なく継続	Ⅱ-A-8 (2)（改善） 継続

区分レベル	Ⅱ-A-8
学科専攻名	介護福祉専攻
記載者名	太和田 雅美

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）		ACT（改善）
Ⅱ-A-8(1)	Ⅱ-A-8(1)（計画） 卒業生の進路先からの評価を聴取している。	Ⅱ-A-8(1)（実行） 到達目標に沿った卒業生アンケートを実施している。	◎	Ⅱ-A-8(1)（評価）	Ⅱ-A-8(1)（改善）
Ⅱ-A-8(2)	Ⅱ-A-8(2)（計画）聴取した結果を学習成果の点検に活用しているか。	Ⅱ-A-8(2)（実行） アンケート結果を振り返り学習成果に活用できた。	◎	Ⅱ-A-8(2)（評価）	Ⅱ-A-8(2)（改善）一昨年からの検案事項であるコミュニケーション力の強化を検討する必要がある。日頃より専攻において対学生・教員間でも言葉使いに配慮していくよう改善する。

区分レベル	Ⅱ-A-8
学科専攻名	食物栄養専攻
記載者名	友竹浩之

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）		ACT（改善）
Ⅱ-A-8(1)	Ⅱ-A-8（1）（計画） 卒業生の進路先からの評価を聴取しているか、点検する。	Ⅱ-A-8（1）（実行） 専攻教務委員が点検した。	◎	Ⅱ-A-8（1）（評価） 卒業生の進路先からの評価を聴取している。	Ⅱ-A-8（1）（改善） 継続して点検する。
Ⅱ-A-8(2)	Ⅱ-A-8（2）（計画） 聴取した結果を学習成果の点検に活用しているか、確認する。	Ⅱ-A-8（2）（実行） 専攻教務委員が点検した。	△	Ⅱ-A-8（2）（評価） 聴取した結果については確認したが、学習成果の点検には活用できていない。	Ⅱ-A-8（2）（改善） 聴取内容をふまえて、学習成果を点検する。

区分レベル	Ⅱ-A-8
学科専攻名	幼児教育学科
記載者名	青木 千恵美

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）		ACT（改善）
Ⅱ-A-8(1)	Ⅱ-A-8(1)（計画）進路先の保育所、認定こども園、施設等に卒業後評価アンケートを送付し、回答を依頼する。	Ⅱ-A-8(1)（実行）R6.2月卒業後評価アンケートを送付した。	◎	Ⅱ-A-8(1)（評価）	Ⅱ-A-8(1)（改善）継続する
Ⅱ-A-8(2)	Ⅱ-A-8(2)（計画）卒業後評価アンケートの回答を学科内教員で共有し、学修成果の点検に活用する	Ⅱ-A-8(2)（実行）学科内教員で共有した	○	Ⅱ-A-8(2)（評価）	Ⅱ-A-8(2)（改善）Ⅰ-B-1(3)記載 アンケート回答の共有の他、意見交換を継続する

区分レベル	Ⅱ-A-8
学科専攻名	看護学科
記載者名	鈴木 真由美

	PLAN（計画）	DO（実行）	CHECK（検証）		ACT（改善）
Ⅱ-A-8(1)	Ⅱ-A-8 (1)（計画）（1）卒業生の進路先からの評価を聴取している。 「卒業後評価アンケート」の実施を継続する。	Ⅱ-A-8 (1)（実行） 「卒業後評価アンケート」を実施した。	◎	Ⅱ-A-8 (1)（評価） 継続に問題はない。	Ⅱ-A-8 (1)（改善） 改善事項なし。
Ⅱ-A-8(2)	Ⅱ-A-8 (2)（計画）（2）聴取した結果を学習成果の点検に活用している。 聴取した結果を学習成果の点検に活用する。	Ⅱ-A-8 (2)（実行） アンケート結果を学科会議で共有し、学習成果の点検に活用した。	◎	Ⅱ-A-8 (2)（評価） 継続に問題はない。	Ⅱ-A-8 (2)（改善） 改善事項なし。